

パリ協定のポイント

- 2°C目標、「今世紀後半の排出・吸収のバランス」などの**長期目標**
- 各国が自ら、排出削減等に関する**目標（NDC）を設定（5年ごと更新）**
- 5年ごとに長期目標に向けた**世界全体の進捗を点検（Global Stocktake）**
- **その結果を踏まえて各国の目標を向上（2023年に第1回GS実施）**

COP21決定1 パラグラフ20

2018年に「促進的な対話」(facilitative dialogue)を実施

- ・ パリ協定4条1項の長期目標に向けた努力に関する進捗の総点検（take stock）
- ・ 各国が定める目標（NDC）の準備状況の情報共有を目的とする。



- ❑ COP21当時、パリ協定は「2020年以降の枠組」と想定。施行までの間の準備プロセスとして「促進的な対話（＝タラノア対話）」を位置付け
- ❑ しかし、パリ協定は予想以上に早く発効。今年COP24でルールブックに合意すれば実質的にパリ協定がスタート。
- ❑ **タラノア対話(2018)はパリ協定Global Stocktake(2023,2028・・・)の試金石**

今後の予定

各国、機関等の更なるインプット（10月29日まで）

※誰でもインプットが可能 <https://talanoadialogue.com/>

IPCC1.5°C目標に関する特別報告書（10月）



COP24 政治フェーズ（12月）

閣僚級ラウンドテーブル 等

日本版タラノア対話プラットフォーム

タラノア ● JAPAN

未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル

気候変動対策に取り組む企業、自治体、NGO等の取組事例を国内外に共有するためのポータルサイト。

<http://copjapan.env.go.jp/talanoa/>

<https://www.facebook.com/talanoajapan/>

- ①タラノア対話の3つの論点に沿った取組の優良事例を募集
(取組の今、目標、目標に向かう方法など。フォーマットあり)
- ②提供いただいた取組事例をポータルサイトに掲載し、国内外に発信
- ③取組事例の一部は政府でとりまとめ、気候変動枠組条約 (UNFCCC) のタラノア対話公式プラットフォームに日本の取組として情報提供

あらゆるステークホルダーの取組を促進

皆さまの優良事例の発信のため、
タラノア対話ポータルをぜひご活用ください。